

# パトロール評価基準

2021.7

## ■ 「重大性」「可能性」の見積もり基準

※ 書類関係は本基準の内容に準じて判定する

### A 「重大性」の見積もり基準

重大性	内 容	点 数
極めて重大 (死亡・重篤)	死亡、切断（指、腕、足等）、重傷中毒	5
重 症 (休業30日以上)	病院の治療が必要で、長期入院及び長期休業が予想される	4
中 症 (休業4日以上)	病院の治療が必要で、入院する必要がある	3
軽 症 (休業3日以内)	病院の治療が必要だが、通院でよい	2
軽 微 (不 休)	病院の治療を必要としない軽微な災害（アカチン災害）	1

### B 「可能性」の見積もり基準

可 能 性	内 容（目 安）	点 数
確実である	危険有害要因に継続的に接するか、頻繁に接し、注意していても災害になる。 (今その場所で作業している。又は、今でもそこで作業するその可能性が高い。又は、同じ危険箇所が10箇所以上ある。)	5
可能性が高い	危険有害要因に接する頻度が高く（1回/1日以上）、接した場合は、注意していても災害になる。（今作業していないが、この後で作業する可能性が高い。又は、同じ危険箇所が3～9箇所くらいある。)	4
可能性がある	危険有害要因に時々（1回/1日～2日）接し、うっかりしていると災害になる。 (今日中に作業する可能性がある。又は、同じ危険箇所が2箇所ある。)	3
可能性が低い	危険有害要因に接することはほとんど無いが（1回/2日～3日以下）、うっかりしていると災害になる。（今日はその箇所作業する予定はない。)	2
極めて可能性が低い	普通に注意していれば、災害にならない。	1

## ■ 評価点

		重大性					
		極めて重大	重 症	中 症	軽 症	軽 微	
可能性	確実である	5	25	20	15	10	5
	可能性が高い	4	20	16	12	8	4
	可能性がある	3	15	12	9	6	3
	可能性が低い	2	10	8	6	4	2
	極めて低い	1	5	4	3	2	1

## ■ 危険度の判定基準

リスクレベル	内 容	リスク点	取扱い基準（リスク低減措置の優先度）
V（使用停止）	直ちに解決すべき問題がある	25・20	<最優先>直ちに作業を中止し改善する
IV（使用停止）	直ちに解決すべき問題がある	16・15	<最優先>直ちに作業を中止し改善する
III（使用停止）	直ちに解決すべき問題がある	12～5	<優先>直ちに作業を中止し改善する
II（是正勧告）	問題がある	3・4	<優先>優先的に改善する
I（指導）	許容可能である	2・1	残留リスクに応じて対処する

## ■ 評価の算定

$$\text{評価} = 100 - (\text{V} * \text{数} + \text{IV} * \text{数} + \text{III} * \text{数} + \text{II} * \text{数} + \text{I} * \text{数})$$

※ 80点未満は再パトロール